

◎ 罷業突發の因由について

丸三問題が發端となり、遂にストライキを引き起した事情については、先日、會社としての立場を、ぼつかりと申上げて置きました。が、罷業の由來についても、一應、大方の御諒解を得たいと思ひます。既に御諒察の通り、所謂丸三問題は決して、之のみに依り罷業を爲す程の重大なる性質を持つて居りません。會社の之に對する關係も、過日申上げた通りで、本社の従業員諸子が、之を勤機として、這般の如き大問題を起すべき理由は、甚だ薄弱であると信じます。

労働組合側では、丸本を以て、労働組合を切崩すと、しきりに申しますが、會社では、丸三に出資をこそして居此危険を冒してその従業員の進退にまで立入る程の愚策を敢てするものではありません。更に又、假に、さういふ事を考へて居るにしても、丸三文について、特に、かゝる事をやるのが果して得策であるかどうか、大凡常識で判断出来る事柄ではありませんか。のみならず、會社が如何なる運輸上の方針を執るべきかは、全く自由で、之を云為するのは一種の經營参加です。四月の間

當な事をさせやうとする、さういふ人たちは、法律で罰せられま